

人権教育通信【WAD】②号

～We Are Different～

文責：宮野

2学期に日向中学校では各学年でテーマを設定し、「人権学習」を行いました。今回はそのテーマと、子どもたちの感想を一部抜粋して紹介したいと思います。ぜひ、各学年の生徒の感想を読んでみてください!!!

【1年生】テーマ：「うわさ話と偏見」について

- 暴力や誹謗中傷などは自分には身近ではないことだと思っていたが、そのきっかけや始まりは小さなうわさや決めつけなど、身近なことだと分かった。日常生活の小さな行動から気を付けていきたいと思った。
- 偏見やうわさ話を簡単に信じたり、勝手に決めつけたりしないというのを改めて知りました。
- 人の悪口や思い込みをする時間があれば、人の良いところや楽しい話をするほうが良いと思う。
- これまで気づいていないうちに決めつけたりしてしまっていたことがあったけど、今回の授業を通して、うわさから暴力までいくと知り、うわさは怖いなと思ったし、自分からも広めたくないと思いました。
- 本当かどうかわからないことを決めつけている人がいたら、「違うかもよ」と声をかけられたらいいなと思いました。
- うわさを流すことはよくないけれど、うわさに流されることもよくないと思った。
- うわさから暴力やいじめに繋がることが分かった。思い込みや自分のイメージで判断しないように気をつけたい。

【2年生】テーマ：「デートDV」について

- 暴力には「体の暴力」「心の暴力」「経済的な暴力」などの種類があることを知りました。自分が発する言葉、一言一言に責任をもたなければいけないと強く思います。
- 「自分が気づいていない間に、相手を傷つけているかもしれない」という言葉が一番印象に残りました。
- 今付き合っている相手はいないけれど、これから先のために、自分の意見もちゃんと伝えられるけど、押しつけにならないように相手の意見も聴いて、上下関係ができないようにしたいと思いました。
- 自分に向けられていない言葉でも、聞いていて「嫌だな」と感じる言葉をいくつか思いつきました。まずは自分がそのような言葉を言わないように気をつけていきたいです。
- 自分の価値観を押しつけないように気をつけたい。自分の気持ちをこれまで伝えられていなかったので、今日からはしっかりと言葉で伝えたいと思った。お互いに理解し、切磋琢磨して、どんなことでも乗り越えたいと思った。
- 今日の話は恋愛だけではなく、友たちの間等でも考えられるケースが多くて、身近なことなんだなと感じ、気をつけていかないといけないと考えました。自分と相手を大事にすることを意識したいと思います。
- お互いに強すぎる言い方や圧を感じる言い方はしないようが良いと思った。自分の意見を言うのは大切だけど、それをどんな風に伝えられるかでトラブルにならずに済むことがあるということが分かった。

【3年生】テーマ：「男女共同参画社会」について

- 男性はこれ、女性はこれ、などと勝手な自分の意見で物事を見ているときがあると思いました。差別をしていないと思っていても、いつの間にかしているときがあると実感しました。偏見をもたず、お互いのことを理解して協力して役割を分担していくことが大事だと思いました。
- 今日、男女差別や男女共同参画社会について学んで、「男性にしかできないこと」「女性にしかできないこと」はないのではないかなどと思いました。偏見をもたず、お互いに協力して、物事に挑戦し、生活していきたいと思いました。
- 最近は多様性の社会が求められているなかで、日本は昔ながらの固定概念の役割がまだ抜けていないと思いました。自分も知らず知らずのうちに男女の偏見をしていることがあると思うので、気をつけていきたいです。
- 性別にとらわれず、自分の得意なことや好きなこと、他人の意見を尊重できる人になりたいと思いました。
- 誰もがお互いを理解し合い、協力して役割を分担する必要がある。そしてそれを支える社会が必要であると思います。そのためには自分たちにできる偏見をなくすことが必要だと思い、それを実施していきたいです。
- 異性という壁にとらわれず、個人の人として一人ひとりを見ようと思いました。自分も好きなものには自信をもちたいし、否定から入らない人になりたいです。男女どちらもが、偏見をもたず助け合える社会になってほしいです。

人権教育担当より

「こども」「性的マイノリティ」「高齢者」「障がいのある人」「外国人」「感染症等」「部落差別」「インターネット上」「震災等の災害」等、「人権課題」と呼ばれるものは数多く存在します。日本だけでなく世界中のすべての人が、温かな言葉や行動で支え合える「空気」を作っていくなければなりません。どうすれば、その空気は作れるとあなたは思いますか？